

## 提案型民間活用制度の今後のあり方について

## 1 提案型民間活用制度の総括

本制度は、これまで市が業務委託において行ってきた「仕様発注」とは異なり、「性能発注」で民間の発想による提案を事業化することから、市では思いつかない事業実施手法や組み合わせによって市民サービスが向上するとともに、効率的な行政運営に繋がった。また、事業の包括化、長期間化により、市内事業者の育成や、組合の設立に繋がり、地域経済の活性化にも寄与してきた。

## 【制度の成果】

- ・ 民間視点による効率的・効果的な事業実施
- ・ 市民サービスの向上
- ・ 事業実施主体の最適化による効率的な行政運営
- ・ 市内事業者の育成・地域経済の活性化
- ・ 事業の包括化、複数年化によるスケールメリットの向上

一方で、提案と市の課題感のミスマッチによる不採択や、事業者と市との温度差があり、提案があったものの、前に進まないこともあった。また、「市職員の人件費の実際の削減効果が見えにくいこと」、「提案事業に置き換わる既存事業が無いと採択ができないこと」、「事業の切り替え時期において、現行事業者が「仕様を少し変えて再提案」することで、長期委託に繋がりやすい「随意契約」の透明性の確保、公平性の観点」などの課題もあった。

## 【制度の課題】

- ・ 市の課題感、求めるものと提案がマッチせず、採択されない
- ・ 事業所管課が「受け身」になりやすく、事業実施に消極的
- ・ 事業実施と職員定数の連動が見えづらい、人件費の削減効果が不透明
- ・ 同一事業者による長期委託化を担保する「随意契約理由」が乏しい
- ・ 新規事業（置き換わる事業が無い事業）を採択することができない

市は非常に厳しい財政状況にあり、財政健全化緊急対策を推進する中、民間のノウハウを生かしたより効率的な行政運営が求められている。また、新型コロナウイルス感染症の影響で疲弊した地域経済の活性化のために、これまでの提案型民間活用制度によって得られた成果や、課題を踏まえ、「特別な制度」ではなく、より「普遍的な仕組み」へ発展的に移行することとする。

## 2 次期制度の骨格案

提案型民間活用制度の成果等を踏まえ、次期制度は次の要素を取り入れた枠組みとする。

### 【次期制度に取り入れる要素】

- ・「業務委託」の手法に関する制度とする。
- ・「民間提案」の枠組みを組み込む。
- ・事業者が市に提案（アプローチ）するハードルを下げる。
- ・限られた募集期間だけではなく、提案受付を「常設化」し、民間の参加機会の拡大を図る。
- ・事業所管課のやらされ感、忌避感の低減策。
- ・市の課題感と提案のミスマッチを防ぐ十分な事前対話の実施。
- ・多数の事業者からの意見聴取を行うマーケットサウンディング<sup>※1</sup>や競争的対話<sup>※2</sup>の導入。
- ・「包括委託」「柔軟な複数年契約」を可能とする。
- ・単年度の中での1サイクル（募集→提案→審査→採択→予算調整→事業実施準備）に拘らず、案件に応じて熟度を上げながら事業を進める。
- ・「人件費・事業費削減」「市内経済循環」「行政サービスの維持・向上」を柱とし、特に人件費削減については、自動的に「職員定数や採用数」と連動する仕組みとし、見かけだけの人件費削減とならないようにする。
- ・新規事業（取って代わる事業が無い場合）でも人件費削減等効果が期待できる場合は採択できるようにする。
- ・長期契約を対外的に説明しやすい事業者選定手法とする。
- ・トライアルサウンディング<sup>※3</sup>の導入を可能とする。
- ・提案する事業者にインセンティブを付与できる仕組みとする。
- ・選定プロセスの透明性の確保。

#### ※1 マーケットサウンディング

事業の検討段階において、事業内容の形成等を目的として民間事業者との対話を通じて広く意見や新たな提案等を求める市場調査・情報収集の手法。

#### ※2 競争的対話

事業者の公募前に市と民間事業者による対話の場を設け、十分な意思疎通を図ることによって民間事業者が事業の趣旨や要求水準等の意図を理解し、提案内容との乖離を防止するとともに、熟度の高い要求水準書等を作成するための制度。

#### ※3 トライアルサウンディング

公共施設等への民間活力導入を検討するにあたり、市場調査を兼ねて民間事業者に暫定（トライアル）で事業を実施してもらう制度。民間事業者は対象施設の使い勝手、採算性、立地条件等を確認し、市は結果を公募等に活かす。

上記を踏まえ、次期制度の骨格（案）は次のとおりとする。

### 次期制度の骨格（案）

#### 《共通事項》

・制度の目的

- (1) 人件費・事業費削減（財政健全化）
- (2) 地域経済循環・地域活性化（市内事業者優先）
- (3) 行政サービスの維持・向上

※一つの事業で上記全てを達成することは必ずしも求めず、総合的に判断する

・制度の位置付け

「公民連携推進のための基本的な考え方（改訂版）」に基づき実施した提案型民間活用制度を発展的に継承する制度として、上記目的達成のため、さらなる公民連携の推進を図る全庁的に利用しやすい業務委託スキーム（プラットフォーム）とする。

また、事業所管課が単独で行うにはハードルが高くなりがちな複数年契約に伴う「債務負担行為の設定」や「プロポーザル」、「モニタリング評価」等を枠組みとして提供するとともに、マニュアルや雛形を整備し、行政改革推進室が運用をアシストする全庁の共通基盤とすることで、事業所管課が「利用しやすい」「利用すれば負担が減る」ものとする。

#### 《コンセプト（現提案型民間活用制度のメリット・デメリットを踏まえ）》

- (1) 長期間（期間を限定しない）の事前対話
- (2) 常設型提案（営業）受付
- (3) 民間からの自由な提案受付型と、行政からのテーマ設定型を併設
- (4) 業務の包括化・柔軟な複数年契約
- (5) 事業所管課と事業者との対話を重視
- (6) 市内事業者育成、地域経済循環のための市内事業者優遇措置
- (7) マーケットサウンディング、競争的対話、トライアルサウンディングを効果的に組み合わせる
- (8) 市内部での組織横断的な連携を図るため、市としての全体最適に関して行政改革推進室が総合調整
- (9) 事業者、事業所管課の負担軽減
- (10) 事業者選定における積極的な情報発信による「透明性」「公平性」の確保

## 《提案類型》

①自由提案型と②行政提案型とし、いずれの場合も公募前にマーケットサウンディングや競争的対話を行うことで、「行政が作ったもの」ではない、効果や実現性の高い仕様を作成することを基本とする。また、各過程において行政改革推進室が総合調整を行い、事業所管課の負担感を軽減するとともに、効果の最大化を目指す。

### ①自由提案型

「常設型の簡易提案受付」を導入し、事業者と事業所管課が「十分な対話」を行い、事業化の見込みや効果があると判断した後に、マーケットサウンディングや競争的対話を経て仕様を作成し、公募を行う。

#### <スキーム（案）>

- ①特段の提案募集期間は設けず、いつでも提案を受け付ける（簡易な企画書でも可とし、事業者の負担軽減）  
→窓口は行政改革推進室で一元化し、担当課との橋渡し役となる。
- ②期限を定めずに事業者と事業所管課で対話
- ③事業スキームが効果的なものと事業所管課、行政改革推進室が判断したら、「公平性」「透明性」確保のため、公募に向けた流れに進む。
- ④マーケットサウンディングや競争的対話を実施し、課題を解決する他のスキーム（仕様）の存在や、事業者の意向等を聴取。
- ⑤事業者と事業所管課との対話を踏まえ、仕様を作成、公募
- ⑥契約、事業実施
- ⑦各年度に1回はモニタリングを実施。
- ⑧事業期間終了時に、その後も同様のスキームが望ましい場合、②行政提案型に移行して公募を行う。

### ②行政提案型

市が提示する一定の目的を達成するための事業スキームを募集する。全ての分野に対する提案を募集するのではなく、行政改革推進室が事業所管課と対話を行い、民間提案により解決の見込みや効果があると判断される分野を事前に特定する。その上でマーケットサウンディングや競争的対話を経て仕様を作成し、公募を行う。

#### <スキーム（案）>

- ①民間提案により解決の見込みや効果が望まれる分野、事業を市が抽出。
- ②民間提案によって、課題解決が見込めるものについて、事業所管課と行政改革推進室が協議を行い、効果的な事業スキームの精査。  
→事業所管課の課題感に基づく発意を行い、行政改革推進室は事業所管課との調

整及び全庁の業務を横断的に精査した上での包括化等の案件発意を行う。

- ③本制度による事業実施が効果的と判断される場合について、マーケットサウンディングや競争的対話を実施し、課題を解決する他のスキーム（仕様）の存在や、事業者の意向等を聴取。
- ④事業者と事業所管課の対話を踏まえ、仕様を作成、公募
- ⑤契約、事業実施
- ⑥各年度に1回はモニタリングを実施。

#### 《その他》

- ・事業者選定にあたっては、十分な「透明性」「公平性」の確保を行うことを前提に、提案内容や対話を踏まえ、状況に応じて提案者には一定の加点を行った上で公募を行うなどの選定手法も検討する。

#### 4 今後の進め方

次期制度については、公民連携推進のための基本的な考え方の改訂と合わせ、令和4年度に構築し、茅ヶ崎市実施計画2025の取り組みが始まる令和5年度にスタートするものとする。